

(様式第4号)

## 第9回真田地域協議会 会議概要

1	審議会名	真田地域協議会
2	日 時	平成21年12月15日(火) 午後7時00分から午後9時20分まで
3	会 場	真田地域自治センター 講堂
4	出席者	清水潤会長、佐藤和雄副会長、上原和彦委員、大日方早苗委員、小島俊幸委員、 小林豊明委員、小林満子委員、坂口恒子委員、坂口益次委員、塩沢憲子委員 清水茂委員、関清美委員、関貞徳委員、中沢盛雄委員、花岡静枝委員 前澤幸徳委員、宮下蘭子委員、山宮良雄委員 <b>【欠席委員】2名</b>
5	市側出席者	笠原センター長、センター全課長、滝沢地域政策係長、武捨主査、宮島主査 大沢政策企画局長、伊藤交流・文化施設準備室長 田口子育て・子育て支援課長、松井課長補佐、中澤主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成21年12月24日

### 協 議 事 項 等

- 1 開 会 (佐藤副会長)
- 2 会長あいさつ (清水会長)
- 3 センター長あいさつ (笠原センター長)
- 4 会議事項
  - (1) 「上田市未来っこかがやきプラン骨子案」について (報告：子育て・子育て支援課)  
**【説明要旨】**～資料から～  
(子育て・子育て支援課長)  
意見募集について  
プランの趣旨、少子化の現状、今後の子育て支援策  
基本理念、基本目標、基本施策、主な事業  
**【質疑応答】**  
(委員)  
上田地域で出生の現状等、上田地域の特徴を知りたい。  
(子育て・子育て支援課長)  
人口減少については、人口推計からも、県内19市の中でも真ん中より少し下になっている。  
調整課として、基本的には安心して子育てできる環境づくりが大切だと考えます。小児の救急医療問題等を進めていかなければならない。また、地道な活動としては、地域の中でお母さん達が孤立しないような地域活動が大切にしていかなければならないと考える。  
(委員)  
例えば真田地域がどんな状況なのかをデータで示し、過疎と過密という観点からもプランを示したらどうか。

(子育て・子育て支援課長)

御意見を参考にさせていただきます。

(2) 交流・文化施設等整備計画について(報告:交流・文化施設準備室)~資料から~

【説明要旨】

交流・文化施設等整備計画策定までの経過等

交流・文化施設等整備計画(H21.12)の内容説明

交流・文化施設等整備計画説明会の開催について

【質疑応答】

(委員)

大ホール 1,700 席・小ホール 300 席については、当初から変更されていない。公聴会を多く開催して意見を聞いたとの説明があったが、どこに意見が反映されているのか。他の課題の公聴会にも市民の足が向かなくなることを危惧する。

(委員)

必要という意見の方が多いと思う。ただ今まで施設規模の問題になっている。また、市民生活に密着した施設でなければいけない。この点については、どのように検討されたかの経過を知りたい。

(交流・文化施設準備室長)

大ホールの規模については、いろいろな御意見をいただけてきました。検討委員会の中間報告では 1,500~1,700 席とされましたが、検討委員会でも意見が分かれていた部分もありました。その後、学校の先生から市内の児童・生徒が一堂に会する規模といったご意見、またイベント業者から貸館として成り立つ規模とのご意見等から、検討委員会では 1,700 席程度としてまとめていただきました。今回の整備計画では、検討委員会の意見を尊重ながら 1,700 席として判断しましたが、今後開催する公聴会(説明会)の御意見等を参考にしながら総合的に検討を進めて参ります。

今回の施設整備については、合併特例債を使って、市民の皆さんの負担を軽減しながら実現に向けて進めてまいります。

(2) 「真田地区有線放送電話事業の今後のあり方」に係る審議会の答申について

(報告:真田地域振興課)

【説明要旨】~資料から~

・答申書(上田市真田地区有線放送電話審議会:平成 21 年 12 月 9 日)の内容説明

「真田地区有線放送電話事業は、現行設備を維持し、存続されたい。」(付帯意見あり)

【質疑応答】

(委員)

答申の現行設備の維持というのは、近代化するのではなく、現在の施設を直しながら維持し

ていくという意味ですか。

(地域振興課長)

おっしゃるとおりです。施設についてもですが、経営的にも当面5年までという答申です。その先については、新たな審議会で御検討いただくこととなります。

### ③ 分科会協議内容の報告及び協議

【各分科会からの報告】 ~資料~

(第1分科会長)

第1分科会 テーマ「地域の特性を活かしたまちづくり」

(第2分科会長)

第2分科会 テーマ「産業(農業・観光)の振興」

(第3分科会長)

第3分科会 テーマ「安心して暮らせるまちづくり」

【協議内容】

(会長)

我々の任期は来年3月で終わるので、何らかのかたちで意見を発信したい。各分科会の協議報告から、今日は市長に意見書として提出したい項目は何かを協議したい。

第2分科会からは、「ゆきむら夢工房の観光拠点化」、菅平の「スポーツ施設」については意見書としたいとの説明があった。また、第3分科会からは自治センター(建設課)から諮問されている「真田地域バス運行改善計画」については、了解する旨の報告があった。その他のいろいろな意見項目については、意見書にならないまでも、経過を『自治センターだより』等で報告・発信しなければいけない。

今申し上げたのは、協議のたたき台とする個人的な意見ですので、各委員からもご意見をいただきたい。

(第3分科会長)

「真田地域バス運行改善計画」については、バス会社の承諾と市の交通対策課に了解を得れば良いことなので、意見書を出す方向でよいのではないかと。

菅平の高齢者への補助制度関係(バス料金:上田往復2400円は高い)については、他地域にも関連する問題として、市全体の課題とされるだろう。真田地域だけの問題というよりも、真田から発信して全体に広げるという意味で、有効な方法を今後さらに検討し、意見書として提出したい。

また、「バス料金の半額」については、バス会社がOKすれば済む。ただ、現実にはバス会社としては難しく、市からの一定の補助が必要となることから、新たな政策として求めるかどうか

か。関連して、丸子や武石の住民は現在の交通体系によれば、上田市民会館などに無料や100円・200円で行くことができる。市民会館から文化の恩恵を受けるという観点では、市民の対等性について、新たな施策を市に求めていくことができる。

(会長)

他にいかがでしょうか。

(第2分科会長)

菅平高原にコンベンション施設を造るという構想があると聞いた。第2分科会では議論していないので記述できなかったが、全体会で意見書をまとめる段階で追加したほうがよいのではないか。

(委員)

菅平区長の諮問機関の「検討委員会」が春から協議している。菅平全体の問題として、東京のラグビー関係者など様々な団体とすり合わせをしながら、行政とも打ち合わせをしている最中。ある程度すり合わせが出来た段階で地域協議会に示したいと考えている。

(第2分科会長)

「推進する」というかたちではどうか。触れないほうが良いのか。

(委員)

今の段階では、いろいろな視点からの課題が出されているので、そのすり合わせをしている。コンベンションホールの規模、医療体制、道路、農業関係など、菅平全体のビジョンづくりとして進めているところなので、骨組みができたところで協議会に示したいと考えている。今のところは控えたい。

(会長)

地域協議会ですから、実現する・しないに関わらず、市にやってほしいことを協議会が後押しできないのか。

(委員)

菅平地区の抜本的な対策として、観光面・農業面などの、菅平の将来的なビジョンづくりを進めている。菅平を上田市民や真田住民にもご利用いただくことも含めて今検討している段階。今後、地域協議会に後押ししていただく時期が来るので、よろしく願いしたい。

(会長)

たまたま第2分科会の協議内容(ゆきむら夢工房の観光拠点化)は、先ごろの議会でも取り上げられ、行政も真剣に考えている課題であった。協議会としても地域に関わる大切な課題であると認識している。只今の菅平のコンベンション施設の話も、それらの課題と同じよう協議会として応援できないかと思い提案した。

(委員)

第2部会の「ゆきむら夢工房の観光拠点化」については、12月3日の信毎(東信版)に出ていた。すでに行政が先行している課題なので提案する必要があるのか。

第1分科会から真田地域としての連帯が欠けてきたのではないかという提案があった。また

自治会長の任期のことについても、今年の自治会は、連携ができていると思う。

上田には地域振興会というものがあるというが、これは何の仕事をしているのか。どんな経緯でできたのか。地域内できることならば、真田地域でやればいいものでは？

(第2分科会長)

今までの課題を継続していくには、自治会長がOBとしても協議したほうが良い。確かに地域内で出来ることかもしれないが、行政が関わって進めてもらえないかということ。真田町の頃であれば良かったが、そうしないと地域の意見が弱いのではないか。

(委員)

坂口委員は現在自治会長だが、複数年自治会長を務めることで、解決する問題もあるのではないか。

(委員)

地域協議会が発達していない地域だから、地域振興会をつくったと解釈していた。自治会長会で振興会をつくらうとしても無理だろう。むしろ、地域協議会が継続的な課題に対してリーダーシップをとって解決していくべきではないか。この件はもう少し議論が必要かと思う。

真田地域が交通体系で他の地域に遅れをとっているという第3分科会の報告があった。建設課長から説明を聞きたい。

(建設課長)

真田地域のオレンジバスと路線バスについて提案し、分科会に協議していただいた。第3分科会の報告では、福祉部門(高齢者)に係る課題も提案されており、簡単にお答えできない部分があると思う。

「真田地域バス運行計画」については、協議会の承認がいただけたということで進めてまいります。

(委員)

菅平の高齢者のバス料金については、新しい制度として、公共交通問題とは別の課題としなければいけなかった。協議会として提案するならば、2本立てに分けることになる。

(委員)

先ほどの菅平で協議しているという内容だが、地域協議会は「真田地域協議会」であって、菅平を分離しているわけでない。私は菅平に愛着があるので言うが、菅平にはもう少し開かれた説明をお願いしたい。真田地域全体について、委員がみんなで考えていくべきである。

(産業観光課長)

ゆきむら夢工房の観光拠点化については、すでに行政で進めているので意見する必要はないのではないかという意見についてですが、委員からの新聞報道のお話については、12月定例会で清水俊治議員の一般質問に対して、センター長がこのようにしたいと回答した内容です。必ず実現するというものではありません。

(会長)

いろいろ協議をいただいた中で、観光振興については意見書として提案できる感じがする。次回までに意見書という形(案)に整え、意見書として提出するのも含めて協議をお願いしたいと考えるがいかがでしょうか。

(全委員)

了承

## 5 その他

(副会長)

次回(第10回)の協議会は、1月20日(水)午後7時からとします。

## 6 閉 会

(副会長)

以上で本日の協議会を終了します。